

Infosys Finacle Client Innovation Awards 2020

画期的なデジタル・バンキング・イノベーションを評価

ベンガルール (インド) 2020 年 7 月 14 日: インフォシスの子会社である EdgeVerve Systems の一部である Infosys Finacle は本日、Infosys Finacle Client Innovation Awards 2020 の受賞者を発表しました。今回で 6 回目を迎えるこのアワードは、デジタル・バンキングにおける画期的なイノベーションと主要バンキング業務分野への影響を評価するものです。

8 つのアワード・カテゴリーにわたり銀行から 300 近いノミネートがあり、このアワード・プログラムが始まって以来、最多のノミネートとなりました。アワードは、製品イノベーション、チャネル・イノベーション、カスタマー・ジャーニーの再構築、コーポレート・バンキングのデジタル化、エコシステム主導型イノベーション、プロセス・イノベーション、トランスフォーメーション・エクセレンスおよび最新テクノロジー主導型イノベーションの 8 つのカテゴリーで構成されています。グローバル・バンキングおよびテクノロジー・リーダーで構成される専門審査員は、イノベーション指数、利益指数および複雑性指数の 3 つの基準に基づき、候補を評価しました。

受賞者は、6 つの大陸からの従来の銀行、新興銀行、グローバル銀行、地方銀行、リージョナル・バンク、伝統的な銀行およびデジタルのみの銀行となっており、イノベーションの普遍的焦点を反映しています。

Infosys Finacle 最高業務責任者兼グローバル・ヘッド サナト・ラーオは、このアワード・プログラムにノミネートされたイノベーション事例について次のように述べています。「イノベーションか消滅かという古いことわざが今ほど当てはまることはありません。伝統的な銀行業務は、妥当性と競争上の優位性についてすでに精査されています。現在の世界的流行が状況をさらに際立たせ、適応的イノベーションの深い柔軟性のニーズを強調しています。Finacle Client Innovation Awards 2020 の候補者と受賞者は、その能力を明確に示し、世界中から最も影響力のあるテクノロジー主導のバンキング・イノベーションを生み出しています。今回の候補者の規模と多様性は、世界中の銀行による持続的な投資とイノベ

ションへの注力を示しています。すべての評価された銀行に心からお祝いを申し上げるとともに、2020 年以降の継続的な成功を願っています。」

サンタンデール銀行 トランザクション・バンキング担当マネージング・ディレクター兼ヘッド マイケル・ヴァランス氏は次のように述べています。「英国のお客様向けに、新しい顧客中心の国際および国内決済サービスを提供する当行のデジタル変革プロジェクトが Infosys Finacle に評価していただいたことは大変喜ばしいことです。当行は、Infosys Finacle と協力し、お客様のニーズに沿ってデジタル・チャネルを再設計し、シンプルで説明的な決済サービス体験を提供しています。当社のビジョンは、お客様のインサイトを活用してプロアクティブなデジタル・プロンプトおよび通知を提供し、お客様がより効率的かつ安全に支払いを行い、管理できるようにすることです。当行のテクノロジー戦略に Infosys Finacle を組み込むことにより、デジタル変革を促進し、新しい顧客機能を導入し、新興テクノロジーをうまく利用するために、製品およびチャネル全体の運用効率を向上させることができました。」

エミレーツ NBD Liv. ヘッド ジャエシュ・パテル氏は、次のように述べています。「Infosys Finacle のようなグローバル・プラットフォームにおける当行の取り組みが評価されたことを光栄に思います。当行は、お客様やパートナーから継続的にいただいている素晴らしい献身、信頼、サポートに感謝します。現在進行中のデジタル変革が金融セクター全体に広がり続ける中、当行は、イノベーション、金融、ライフスタイルを合わせることで、地域におけるバンキングを引き続き再構築することを楽しみにしています。」

スタンダード銀行 パーソナル & ビジネス・バンキング・アフリカ・リージョン ヘッド・クライアント・ジャーニー クレイグ・パウワー氏は、次のように述べています。「当社のデジタル [無担保] 融資プラットフォームが Infosys Finacle Client Innovation Awards 2020 で評価されたことを光栄に思います。当行はアフリカ最大の資産を誇る銀行として、お客様との豊かなインタラクションを実現するために、IT システムと従業員体験のあらゆる側面にイノベーションをもたらすことに取り組んでまいりました。革新的かつ便利な方法でアフリカ全土のお客様にサービスを提供できることは、これまで以上に重要です。インフォシスとのパートナーシップは、完全に自動化された普遍的な金融サービス組織になるという当行のビジョンを支えています。」

受賞銀行の一覧、受賞したイノベーションおよび受賞銀行からのコメントは、[こちら](#)をご覧ください。

Infosys Finacle について

Finacle は、Infosysの完全子会社である EdgeVerve Systems が提供する業界をリードするデジタル・バンキング・ソリューションです。Finacle は、従来の金融機関や新興金融機関が真のデジタル変革を推進し、摩擦のない顧客体験、より大きなエコシステムの動き、インサイト主導のインタラクション、ユビキタスな自動化の実現を支援します。今日、Finacle は、100 カ国の銀行に選ばれ、10 億人の消費者にサービスを提供しています。また、銀行口座 13 億件以上が Finacle によって稼働しています。

Finacle ソリューションは、金融機関のコア・バンキング、オムニチャネル・バンキング、払込、トレジャリー、オリジネーション、流動性管理、イスラム銀行、資産管理、人口知能およびブロックチェーンのニーズに対応し、ビジネスの卓越性を促進します。世界の銀行トップ 1250 の評価により、Finacle コア・バンキング・ソリューションによって強化された金融機関は他社と比べて経費率が平均 7.2% 減少していることが明らかになりました。

詳しくは、www.finacle.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースに記載されている当社の将来的な成長の予測、財務的な見通しおよび新型コロナウイルスの当社従業員、お客様およびステークホルダーに対する影響を回避するため計画に関する記述の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の『セーフハーバー条項』に該当する情報が含まれており、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。これらの記述に関連するリスクや不確定要素には、新型コロナウイルスとその蔓延の抑制を図る政府などの措置の効果、インド、米国、その他の世界各国における不況または景気後退に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済状況の変化、収益の変動、為替レートの変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技術をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界や係争中の訴訟や政府の調査の結果に影響を与える経済情勢などが含まれます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2018 年度会計年度 (2019 年 3 月 31 日付) 年次報告書 (Form 20-F) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。Infosysは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、追加で書面および口頭により将来の展望を随時発表する場合がありますが、法令で定められている場合を除き当社または代理人により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問合せ先

Infosysリミテッド 日本支店

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com